

2010年度予算 市民の暮らしはどうなる?

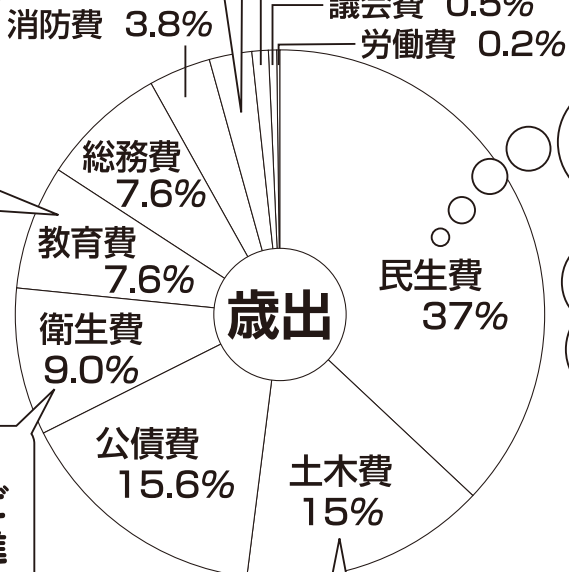
市民運動が 実った

年々減らされている
教育費 ついに7.6%
そんな中でも、
特別支援学級増

食品トレイの回収、
使用済み蛍光灯回収など
資源化が前進
でもやっぱり
ゴミ収集は無料に…

農林水産費 2.6%
・米粉製品の生産・消費拡大
・入籍・出産の方に岡山米プレゼント

商工費 1.0%
議会費 0.5%
労働費 0.2%



やったー!!
・こどもの医療費・
入院費が中学卒業まで
無料に!
・児童クラブ
・発達障害者
支援体制の整備
センター設立にむけて
一歩前進

橋梁・河川整備に予算が!!

日本共産党 岡山市政ニュース

発行者
日本共産党
岡山市議会議員団
岡山市北区大供1丁目1番1号
(市議会内)
〒700- 電話(086) 803-1000
8544 内線 4370・4371

田畑賢司
崎本敏子
竹永光恵
河田正一
林潤

No.241 (通249)

コクッナ!
岡山市は今年六月から、中
学校卒業まで入院医療費を無
料化します。所得制限はあり
ません。平成二十二年度中
申請したらお金が戻る方式で
すが、平成二十三年度からは
支給資格証により、窓口負担
なしとなります。ひきつづき
通院の無料化(現在就学前ま
での拡大や国制度の実現へ
むけがなびります。岡山市の
制度改善で、県下でもワース
ト1を脱しました。

コクッナ!
「**子どもの医療費
無料化拡大!**
障害者医療助成
65才以上も対象に!

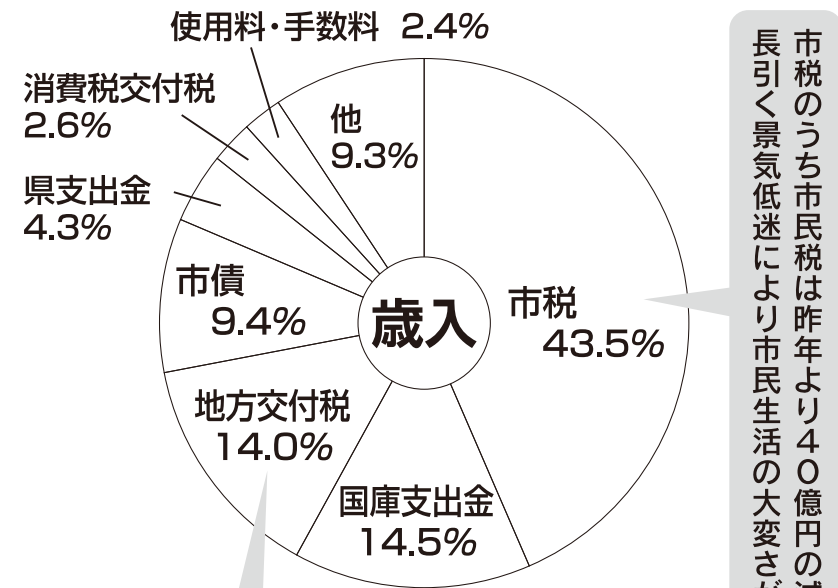
コクッナ!
岡山市セクハラ等防止・
対策委員会設置
要綱できます!
(四月一日)

セクシュアル・ハラスメン
トやパワー・ハラスメントは
重大な人権侵害です。男女雇
用機会均等法では、セクハラ
防止や被害がおきたときの対
策をきちんととる様に求めて
います。

岡山市は、「岡山市セクシ
ュアル・ハラスメント苦情処
理委員会」を設置してしまし
たが、問題解決のための機能
を果たすために、名称を含め
委員の構成や調査方法などの
改善が課題でした。このたび
女性議員や女性職員の声が届
き、「岡山市セクシュアル・
ハラスメント等防止・対策委
員会」と名称を改善。適切な
対応へ一歩前進です。

障害児の学びの保障
岡山県は、障害を持つ生徒
が一人か二人の場合はかな
か特別支援学級の設置を認め
てきませんでした。
今年からは小学校で情緒学級は
要望数5に対し設置数も5、
中学校で知的学級は要望数5
に対し設置数4、情緒学級は
要望数8に対し設置数7で、
基本的に希望のあるところに
は特別支援学級が設置されま

**障害児の
児童クラブ受け入れ**
「心豊かな岡山っ子育成プ
ラン」(プラン案)では放課後
児童クラブへの障害児の受け
入れが重点施策の事業として
示されました。
共働きの世帯が増え、必要
性が増す中、指導員は「有償
ボランティア」という不安定
な待遇です。保育の質の担保
のためにも市が責任を持つ体
制が求められます。



市税のうち市民税は昨年より40億円の減。
長引く景気低迷により市民生活の大変さが伺えます。

自公政権で減らされ続けてきた交付税が、こ
こで増額されました。しかし、不安定な交付税と
臨時財政対策債とでの49億円の増額ですので、
持続的、安定的な収入とはいえません。

地元置き去り

市民病院

岡山型ER構想が岡大と連携して二十四時間三六五日断らない病院として操車場跡地に建設される構想が示されています。

そもそも高谷市長は一期目の就任直後、前萩原市政の市民病院の操車場跡地での移転建て替えを白紙撤回しました。なのにER型救急は操車場跡地という方向で進められているのです。

現在の市民病院とは違うものだと説明し、現在の市民病院はなくなるのです。現在の市



▲老朽化している岡山市市民病院

市民病院は高齢者の多い市の中心にある公立病院であり、市民の命のよりどころとなっています。また地元を含め六連合町内会から現地での建て替えをもとめる要望書が市に提出されています。高谷市長は選挙前に「市民病院は移転しない」と約束をしたにもかかわらず、選挙後は地元の要請があつても説明にも行かず結果的に政策転換をしたこととなります。高齢者比率が高く、内科の受診率が高いという市民病院の利用状況を

見ても市民の切実な声に耳を傾けるべきです。せめて分院をという地元住民の要望にもなら具体策をしめさず、岡大ありきでどんだこの構想が進められていくことに疑問を感じます。また操車場跡地をどう使うかという計画もなく、ここきてあわててゾーン分けの案が示されましたが、用途変更などクリアしなければならぬ課題があるなかで現実的なものはありません。最近の高谷市政の市政執行の手続きは順番が違うことや議会軽視で進められていることも多く、このER構想もそのうちのひとつです。市民置き去りの市政運営は改善が必要です。

代表質問を減らしていいの!?

— 議会のあり方検討委員会 —

十一月議会で、ある議員の質問に高谷市長が「岡山市議会は日本一長い」「定数削減、報酬削減に取り組んでもらいたい」と答弁しました。年初の議会運営委員会でも、同様の発言を行いました。議会からは、昨秋の「報酬削減」に反対した会派が議会改革している様を見ることが迫られて、検討会を立ち上げました。しかし、「改革」に値しない、議会の自殺行為につながる提案がなされています。①民意を反映しにくくなる「定数削減」②議員の質問を半分減らす「質問回数削減」③会派

人数による「質問時間の制限」④代表質問回数の削減などが提案されました。そして、今年の十一月議会の代表質問を廃止することを、私たちの反対を押し切って決めました。「質問をしなくてよくなるのは助かる。」「質問しないから議員活動をしないわけではない」など議員が質問しないことを正当化し、サボろうとする意見も出ました。私たちは、議員の身分は、市長提案の疑問点をただし市民に不利益なこととは直させること、市民要求実現のために提案をすることです。岡山市議会は先輩たち

特養増やせ!!

介護の充実について

介護保険ができて十年が過ぎました。介護保険制度のうたい文句は「介護の社会化」と「安心」でした。しかし、介護の担い手の七割は依然として家族です。これまで自公政権は三年ごとに介護保険を見直すさい、介護サービスに対する給付費の伸びをできるだけ抑えようとしてきました。要介護二〜五の人のうち施設に

入居できる人の割合を引き下げる参酌標準を示しました。介護報酬も自公政権は二回連続引き下げ、介護職場の労働条件悪化に拍車をかけました。さらに、介護施設の食費・居住費に改善がされ、介護療養病床の廃止計画が持ち込まれました。これほど改悪したのは自民党と公明党です。民主党は「療養病床削減計画凍結」をマニフェストで掲げて

族介護による離職者は年十四万人に達しており「保険あつて介護なし」という実態の是正は待ったなしです。岡山市の特別養護老人ホームの待機者は約六二〇〇人で、うち在宅待機者は二四〇〇人です。在宅介護にとって必要な施策拡充が早急に必要です。

1) 特別養護老人ホームを含めショートステイの充実
2) 夜間介護サービス提供
3) 家族、住宅、経済を反映した認定制度の抜本的見直し
4) 介護労働者の労働条件改善などを要求しました。

の努力により、審議を尽くす伝統が培われてきました。議事を軽視し、議会を抑え込んで首長が専制政治を行おうとする風潮が一部に生まれています。大阪府知事、名古屋市長や鹿児島市の阿久根市長などの動きは危険な動きと感じています。これらと同じ動きが底流にあるのではと危惧します。改革は必要です。例えば、本会議の時に一〇〇人近くの課長が控えてテレビを見る必要はない。岡山市の局長の数は他都市に比べて多いのだから所管事項は局長が把握しておくべきだと考えます。また委員会でも、発言しない議員が多く参加する必要はないと考えます。こんな無駄は省けばよいと考えます。質問者が

当局と対面で、一問一答方式にすることを求めています。また、答弁が質問の復唱で時間を費やすことは改めるべきです。委員会資料の事前配布による説明の簡略化も賛同します。実際に今議会で長時間を費やしているのは、当局が質問にまともに答えることができず審議が止まるために無駄な時間を使うことによるものです。市長が率先して議会の質問に真摯な態度で向き合うことが、市民の負託にこたえる議会となり、市民の信頼を得る市議会になると考えます。なお、議員視察費を使う海外視察は今年と来年に限りしないことを申し合わせしました。わが党議員団は、海外視察費は使用していません。

カネボウ跡地活用 悪影響の除去を！

― やっと岡山市が中小業者を守ると約束 ―



カネボウ跡地の一部約二・五八ヘクタールを二十一億七千万円で岡山市が土地開発公社から買い戻して、そこへ三菱地所グループが二十四年間の地を賃借して、ケーズデンキとコーナンホームセンターを核とし、スポーツエンターテイメントを併設する案を採用して事業化する計画をすすめています。

この計画は、二月に開催された都市活力創出調査特別委員会で、(1)マルナカがこの土地を買い戻したいと言っていたにもかかわらずその出店を市が阻止したもの。今度はなぜケーズデンキなのか。(2)マルナカが購入していれば固定資産税も納税される。市は五十六億円の巨費を投じなくてもよかつたし、利息を十億円も払わなくてよかつたはずだ。市民に不利益を与えた責任はないのか。(3)しかも、この巨大商業施設の出現で、西大寺商店街や家電及び雑貨小売店は大打撃を受け、倒産する企業もでてくる。その対策はないかどうするのか、などの質問に対し、岡山市は「答弁できない」まま、土地買い入れ

の議案を上程しました。そこで、「このようなどいやり方はないだろう」と田畑議員は、三月十日個人質疑をしましたが、市当局は答えられず翌日に延期されました。それでも答えられず答弁保留のまま、急遽、同特別委員会が開かれ、「やっと西大寺の業者を守るまじづくりをする」との約束に至りました。

今回の三菱地所グループのための二十一億七千万円の土地買い入れ議案問題は、岡山市当局(高谷市長をはじめとする市幹部)の能力のなさと併せて高谷市長の施策が中小業者ではなく大企業に向いていることを示しています。党市議団の引き続き監視が重要です。

しかし、田畑議員への本会議答弁は保留となつたままの三月十七日の同特別委員会での約束となつたのです。川野東区長の約束は「これまで指針としてきた西大寺地区中心市街地活性化基本計画を見直し、東区の基本計画として六月議会までに策定する。その際、今回の三菱地所グループの巨大商業施設の影響を直接受ける西大寺中野本町及び観音院前商店街や同地区内小売商店活性化策に焦点をあてた計画とする。その計画を実行するための予算を確保する」などでした。

予算確保については、区長に権限がないため、佐古副市長に確認したうえで東区長が答弁しました。

子ども手当の支給を六月に間に合わせるため、として二月議会の初日にシステム整備の予算案の採決が行われることになりましたが、当局は予算取り下げ、出し直しとなりました。問題となったのは予算の額の決め方です。国の積算では岡山市に出る

**予算取り下げ・出し直し
特定業者ありきは
ダメ×**

のは三二八八万円なのに市は二五〇〇万円の予算案を出しました。根拠は五社の見積もりです。よく聞いてみると一番安く見積もつていたNECの額と一致。これでは予算が議決される前からNECが仕事を取ることを前提としていることになりました。談合と言われても仕方ありません。当局は答弁不能になり、総務委員会の総意を受けて予算を出し直しました。今度は、国の積算を根拠に三二〇〇万円の予算案となり、全会一致で可決しました。この金額から競争入札で価格を落とすのが本来のあり方です。

法定数の職員確保を！

― ケースワーカー・保育士・保健師など ―

生活保護の申請が昨年比で七%近く増えています。自立支援を含めて福祉事務所のケースワーカーの仕事は激増。ところが、配置数は七十五人(今年一月現在)で社会福祉法に定めた標準数の九十三人に八人足りません。一人あたり九〇人の受け持ちとされているのに一〇二人を受けもつ状況です。共産党市議団は、増員と適切な対応を求めてきました。四月からは「受け持

ちが九〇人になるくらいの体制にはする」との総務局長の答弁がありました。大切な福祉現場の体制充実にはひきつづき課題です。公立保育園の正規保育士の増員は急務です。配置数は五六五人(今年三月一日現在)で、国基準の五七〇人に照らして五人足りません。産休・育休の保育士もいるので、正規職員比率は、六割以下です。臨時職員やパート職員でのやりくりも限界です。国基準を

きちんと配置することは当然のことです。保健師は政令市の配置の目安が示されています。十万人あたり十六人が目安なので岡山市だと百十二人ですが、現状は八十八人(今年三月一日現在)です。目安に対し、二十四人不足です。ゆりかごから墓場まで、健康増進、保健や福祉の地域づくりの要の大切な専門職である保健師をきちんと配置する必要があります。保健福祉委員会では、ケースワーカー、保育士、保健師のきちんとした配置を超党派で求めています。

御津虎倉産廃建設 差し止め仮処分訴訟

高谷市長が昨年十月設置許可を出した御津虎倉産廃に地域住民が建設差し止め訴訟を起こしました。原告団六六二人(代表 中原寿)のうち一五〇人以上が三月十五日岡山地裁に提訴しました。

また、御津河内産廃の業者説明会が、一月十日に続けて三月十四日開かれ一〇〇人を超す住民が反対の意思表示と産廃処分場の危険性について質問を続けました。①安定五品目以外の有害物質混入②直高九十mの堆積物が崩落の危険性が指摘されています。ど



ちらの処分場も浸出液により三野浄水場を汚染し岡山市民の大多数が飲む水道を危うくする恐れがあります。

朝ズバ報道は

ホント?



三月十七日、TBS系列「朝ズバ」の「朝ズバ」八時過ぎのコーナーで岡山市職員給与のことが大々的に報道され、市職員が自分たちの都合のいいようなルールを作ったと多く給与をもらっているのではないかと疑問がもたれました。

問題となっているのは「わたり」と言われ給与決定に際し実際の職務内容にあてはまる給与表の級よりも上位級の給与を支給するという意味で、主任である職員に係長並みの給与が支給されているという実態のことです。

しかし岡山市の場合は違います。今まで市独自給与表では級のとおり支払われるしくみとなっていました。平成二十年から、政令市になるにあたって国と同じ給与表にあわすよう総務省の指導があり、国にあわせると級が変わるので結果的にわたりになってしまったというものであり、違法でもなく、それにより給与をたくさんもらっているということでもないとのことです。

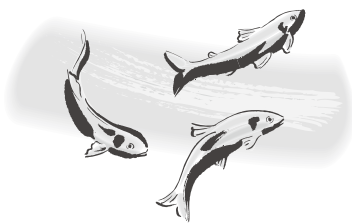
豊かな自然を残そう

国際生物多様性年

人間の活動による生物の絶滅にブレーキを掛けよう、多様な生態系を次代に継承し利用していこう、と一九九二年に生物多様性条約が結ばれました。十月に名古屋で第十回の締約国会議が開かれます。

今年、生物多様性条約についての認識を高め、条約の目的を達成する取り組みへの参加を広げるために国際生物多様性年と定められています。

岡山市では平成二十二年度予算に「生物多様性保全地域戦略づくり推進プロジェクト」の予算が盛り込まれています。市は岡山市の生物多様性元年にしたい、と答弁しています。



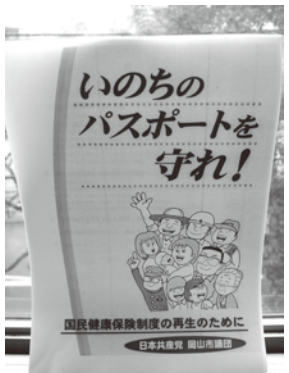
パンフレット紹介

党市議団は、『いのちのパスポートを守れ!』

国民健康保険制度の再生のために

と題して国保制度のパンフレットを作成しました。パンフレットには、国保加入者の状況や制度の現状や問題点、党市議団の提案などもグラフなどを使って詳しく説明しています。

お問い合わせは党市議団まで。



六月議会日程

六月 七日(月)	本会議
六月 十日(木)	個人質問
六月 十一日(金)	個人質問
六月 十四日(月)	個人質問
六月 十五日(火)	個人質問
六月 十六日(水)	個人質問
六月 十八日(金)	常任委員会
六月 二十三日(水)	本会議

ぜひ傍聴にお越しください。



編集後記

子ども手当支給の

子どもっぽい基準

(民主党)

春先は天候不順が続きます。五月下旬の気温になってコートが脱いだかと思うと翌日は雪が降るといふ具合でした。

二〇一〇年春の議会も荒れ模様。熱くなったり、寒くなったり、雨が降ったり、愚図ついた空模様でした。

まず初日の議決案件は子ども手当の支給にかかわるコンピューターシステム変更経費。市当局は業者に見積りを依頼して予算額を算定して上程。議会側はそれは入札談合促進ではないかと指摘。かなり長時間の荒れた審議が続きました。

原因は二つ。一つは民主党の子ども手当支給の荒っぽさ。基準らしい基準を示さず事務執行を市町村にやらせるのですから市当局もたまったものではありません。今一つはコンピューター関係の事業費が巨額な第三の公共事業になっていてほとんどが随意契約で業者の言い値で決定される現状です。

わたしたちももっと勉強しなくては、と思います。次は、市民病院の建て替え・移転問題。

三月九日、議会がストンプしました。

田畑議員が「昨年八月二十七日、高谷市長は清輝コミュニティハウスで清輝学区連町役員に市民病院を現地で整備すると約束して選挙をさせたが、選挙で当選したら場所は天瀬から北長瀬に変更したというウソつきだ」と清輝連町の役員が述べているが、事実か」と質問。これに対し、高谷市長は「言っていない。救急救命部門を付加した病院は市民病院ではない。(仮称)岡山総合医療センターだ」と言いのがれ答弁。これに対し、垣下議員が議長に対し「答弁になっていない」と不規則発言。これに激怒した高谷市長が「なっと」と野次。「なっとらん」「なつとる」「なつとらん」「なつとる」と野次の応酬。

そして、議会は休憩に。再開後の市長答弁は、「清輝の方々に会って説明する。但し、「誤解を与えたことはおわびする」の答弁は企画局長にさせました。

その他、たくさんありましたが、以上二つをご紹介します。